

Microsoft Co-Authoring ガイド

対象プラットフォーム

Windows	Mac	iOS と Android	ウェブ
Windows 10/11 には対応していますが、Dropbox デスクトップ アプリの MSIX (ストアバージョン) には現時点で対応していません。	OS の最低バージョンは FileProvider に対応している 12.5 で、使用するには共同作業用の FileProvider が必要です。	iOS と Android については Dropbox と Office 365 のアプリに対応しているバージョンが必要です。	ウェブでの共同作業セッションは、他のウェブユーザーと引き続きお使いいただけ、別のプラットフォームでの共同作業セッションへの参加にも対応しています。

必要な経験/スキル

Office 365 Business ライセンスが必要です。

永続ライセンス (Office 2016 や 2019 など) には対応していません。

- **Business の場合:** M365 Business Standard、M365 Business Premium、および M365 Apps for Business
- **Enterprise の場合:** M365/O365 E3 および E5、M365 Apps for Enterprises、M365/O365 G3 および G5

Dropbox Standard、Advanced、Business、Business Plus、Enterprise のお客様は、Office バージョン 2311 以降が必要です。

[こちらの記事](#)をご覧ください、お使いの Office を最新バージョンにアップグレードしてください。

対象ファイル

500 MB を超えるファイルには対応していません。

この上限を超えるファイルは「オフライン」モードで開きます。

ご注意

Mac で Finder から直接ファイルを開くには、Dropbox 向け [FileProvider](#) にアップグレードする必要があります。エクスプローラーや Finder からファイルを直接開けない場合は、Office 365 アプリ内でファイルを開いて共同作業を開始してください。

外部のパートナー (または共同作業機能がないユーザー) と共同作業する場合、そのユーザーがウェブで編集するには共同作業機能を有効にする必要があります。有効にしない場合は「閲覧のみ」以外のコピーを開くことができません。

[AutoSave] がオンになっていることを確認してください (デフォルトはオン)。 オフの場合はオンにして、自動保存先を指定し、アプリを閉じてから再度開いてください。

オンラインのみのファイルを Finder かエクスプローラーから開く場合は、ファイルのデータをローカルにダウンロードして開けるよう、同期エンジンが実行中であることを確認してください。

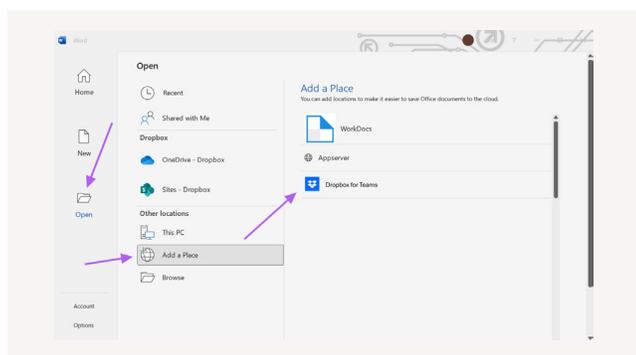
詳細情報の確認や質問、提案の共有については、[コミュニティフォーラム](#)をご利用ください。

チーム向け Dropbox を Microsoft Office 内の場所として追加する方法

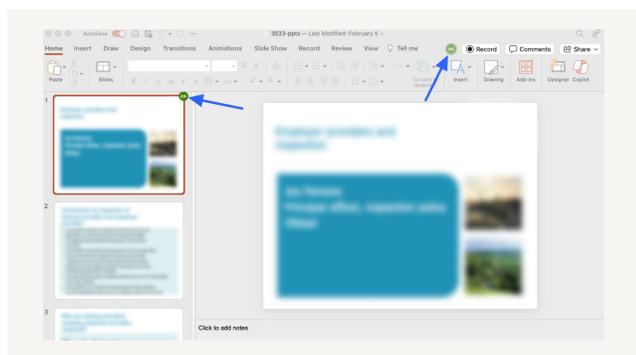
Microsoft Office 内の「場所」とは、Windows のエクスプローラーや MacOS の Finder を使用せずに Office アプリから直接アクセスできる場所を指します。Microsoft Word、Excel、PowerPoint から Dropbox 経由でファイルを開いたり、共有したり、保存したりする場所としてチーム向け Dropbox を追加しましょう。

Windows での設定

1. 任意の Word/Excel/PowerPoint ファイルを開きます。
2. [ファイル] > [開く] > [場所の追加]をクリックして、リストから「チーム向け Dropbox」を探し、通常の Dropbox アカウントでログインします。

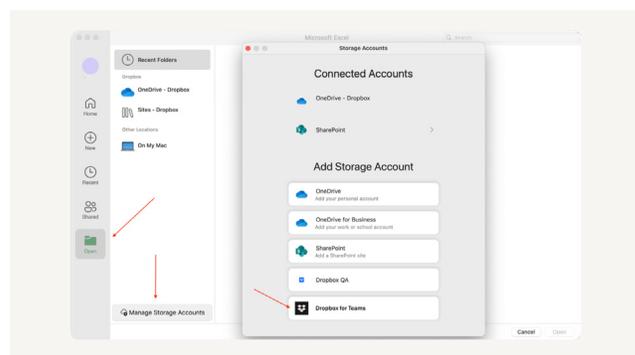


3. Word/Excel/PowerPoint アプリからファイルを開けるようになり、Windows ユーザーは Windows エクスプローラーから直接ファイルを開くこともできるようになります。
4. ファイルを開く際、左上の[自動保存]がオンになっていることを確認してください。ファイルでの共同作業が可能であることが他のユーザーにもわかります。
5. 別のユーザーがセッションに参加すると、そのユーザーのアイコンがポップアップ表示され、他のユーザーも更新内容をライブで見られるようになります。



MacOS での設定

1. 任意の Word/Excel/PowerPoint ファイルを開きます。
2. [ファイル] > [開く] > [ストレージ アカウントを管理]をクリックして、リストから「チーム向け Dropbox」を探し、通常の Dropbox アカウントでログインします。



3. Word/Excel/PowerPoint からファイルを開けるようになります。**Mac で Finder から直接ファイルを開くには、Dropbox 向け FileProvider にアップグレードする必要があります。**
4. ファイルを開く際、左上の[自動保存]がオンになっていることを確認してください。ファイルでの共同作業が可能であることが他のユーザーにもわかります。
5. 別のユーザーがセッションに参加すると、そのユーザーのアイコンがポップアップ表示され、他のユーザーも更新内容をライブで見られるようになります。

